

P-tis ネットワーク・ニュース! 第2号

～佐賀県警察本部警備部警備第一課～

平成29年12月11日

★★ P-tis 佐賀の技術情報を守る! ★★
【Protection of Technological Information in SAGA】



懸念される技術情報流出の実態

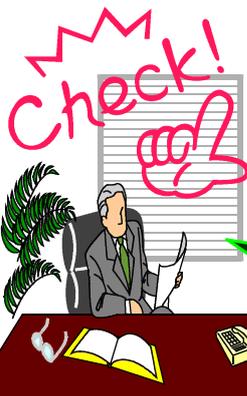
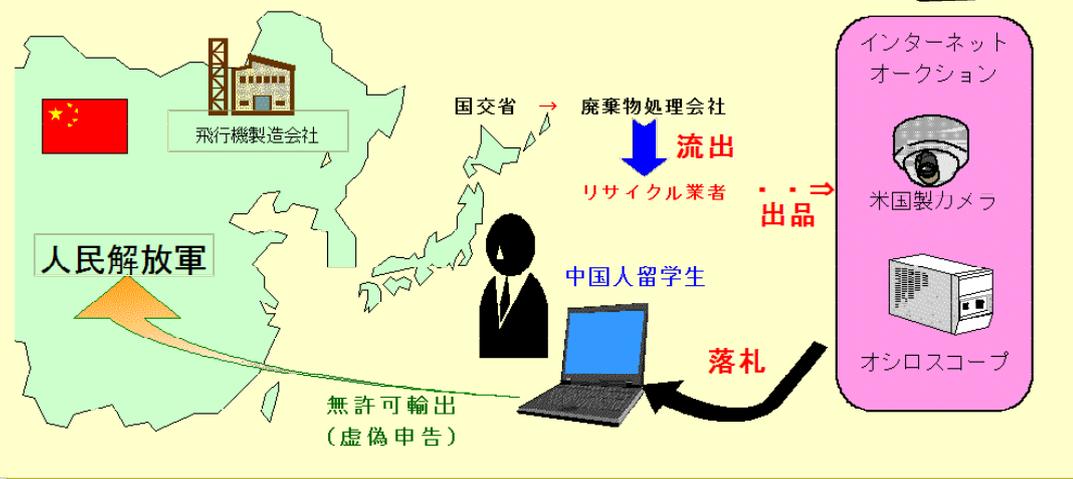
【事例～“米軍用品 中国に不正輸出”】

軍事目的でも使用される米国製赤外線暗視カメラを中国企業に不正に輸出したとして、警視庁公安部が、先月、東京都内居住の中国人留学生を外為法違反（無許可輸出）容疑で書類送検しました。

このカメラは、日本の商社が米商務省の許可を得て輸入し、平成18年から国交省四国地方整備局の防災ヘリに登載、平成27年にヘリ装備を更新するのに伴い、新装備を納入した業者にカメラの処分を委託したが、孫請けの廃棄物処理業者が無断で転売、最終的にはネットオークションに出品され、中国人留学生が落札し、中国に不正輸出したというものです。

カメラは、約3ヶ月前まで撮影できるほか、夜間でも地形や建物の状況を詳細に把握でき、アフガニスタン戦争やイラク戦争でも使用されたことがあります。

【ネットオークション利用による不正輸出のイメージ】



ネットオークションによる軍事技術流出

今回、中国人留学生が不正に輸出したカメラは、中国の軍事関連企業に転売されており、米国の軍事技術が日本を通じて中国に流出した可能性があります。

この種の大量破壊兵器関連物資等の不正輸出事案は、我が国の安全保障に影響を及ぼし得る重大な問題です。